

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容総合技術		美容学科/1年～2年	2023/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	360回	18単位(540時間)	必須	工原幸枝・仲木美樹・古國百美・田場尊子・嘉数明美・奥田恭子・濱田美樹・玉城のぞみ(実務経験あり)
授業の概要				
<p>社会人・専門的技術者としての自覚を養い、習得した基礎的な知識や技術を更に高度に確実に実施できる能力を身につけさせる。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>さまざまな美容技術を応用し新たな技術を生み出す為の総合的能力を習得出来ているか、検定試験や定期試験を繰り返し行い確認していく。</p>				
回	テーマ	内容		
1～60	ネイル技術	ネイル技術、基礎的なネイル検定3級の基礎技術を学ぶ。2級、ジェルネイル技術の習得のために		
61～81	ネイル技術	ネイリスト検定2級、ジェルネイル技術を学ぶ。		
82～88	着付	基本的な和装技術の知識、技術を理解させる。基本的な洋装の知識、技術を学ぶ。		
89～172	メイク技術	基礎メイク技術を習得し、あらゆるシーンに対応できるよう検定を通して技術アップさせる。		
173～187	アロマ	美容技術の中のリラクゼーションを求める場面で必要とするアロマの知識を理解し現場に生かせるよう習得する。		
188～202	パーソナルカラー	色彩、カラーコーディネーター知識・技術を学び、あらゆるシーンに対応できるよう検定を通して習得させる。		
203～223	エステティック技術	美容技術の中のリラクゼーションを求める場面で必要とするエステティックの知識と技術を理解し現場に生かせるよう習得する。		
224～360	学生サロン	サロンワーク全般を学ぶのに必要な技術を習得する大切な科目になります、正しく理解し就職後の即戦力となれるよう習得します。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容版：公益社団法人 日本理容美容教育センター・日本アロマ環境協会・パーソナル協会等・自作テキスト・ネイルスト配布資料		出席率 クラスディスカッション 提出物 定期試験	30.0% 30.0% 10.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コミュニケーション		美容学科/1年~2年	2023/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	20回	1単位(30時間)	必須	仲栄真 樹 実務経験あり
授業の概要				
人と人の繋がりを大切に、相手の気持思っていることを察しコミュニケーション能力を高め就職した際に側力になるよう人材を育てる。				
授業終了時の到達目標				
人と人の繋がりを大切に、相手の気持思っていることを察しコミュニケーション能力を高め就職した際に側力になるよう人材を育てる目的にもあるように、学生が理解しているかの到達度を確認する。				
回	テーマ	内容		
1	オリエンテーション	就職関連・実習を通してサロンワークについて学ぶ。		
2	自己PR	就職先選択の為の自己PRの注意点、アプローチ方法などについて学ぶ。		
3	心理テスト	〃		
4	電話対応	〃		
5	Salonシュミレーション 説明、ミーティング	〃		
6	Salonシュミレーション ミーティング	〃		
7	Salonシュミレーション 練習	〃		
8	Salonシュミレーション 発表	〃		
9	美容師のイメージ	〃		
10	どんな美容師になりたいか	美容師としての心構え等コミュニケーションを通して、実践できるスキルが身についたかを全体で考える。		
11	10年計画レポート	美容師像を明確にし就職活動に役立てる為の計画レポート作成及び発表。		
12	10年計画レポート発表	〃		
13	心理テスト 自己分析	就職先選択の為の自己PRの注意点、アプローチ方法などについて学ぶ。		
14~16	ヘアカラーについて グループミーティング	サロンワークの実践(各技術について学ぶ)		
17	総まとめ	美容師としての心構え等コミュニケーションを通して、実践できるスキルが身についたかを全体で考える。		
18~20	情報処理	サロンワーク(カウンセリング・カルテ作成)の作業を学ぶ。面接対応と履歴書作成。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論Ⅰ・Ⅱ(美容版:公益社団法人 日本理容美容教育センター) 配布資料		出席率 クラスディスカッション 提出物 定期試験	30.0% 30.0% 10.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容福祉		美容学科/1年	2023/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	20回	1単位(30時間)	必須	當間泰子 実務経験あり
授業の概要				
目的: 社会人・専門的技術者としての自覚を養い習得した基礎的な知識や技術を更に高度に確実に実施できる能力を身につけ、それを応用し新たな技術を生み出すための総合的能力を習得させることを目的とする。				
授業終了時の到達目標				
社会福祉を学ぶことで、高齢者や障害者の方々の心と体の特徴を知り、適切な対応ができる知識と技術を身につけ、地域の人々から支持される美容師を身に付ける。				
回	テーマ	内容		
1~2	1自己紹介 2高齢者への美容支援(実習にあたってのアイデア)	福祉: 心理(実習・査定・療法)を学ぶ。		
3~4	現代社会と社会福祉	P7~私たちと生活問題・社会経済環境の変化 私たちの暮らしを支える社会福祉を学ぶ。		
5~6	①おもしろ心理学 ②高齢者への美容支援 DVD(サンハート) 座学P0~P10	おもしろ心理学: 気球 福祉演習: 疑似体験(災害)について学ぶ。		
7~8	②おもしろ心理学 集中力とストレス	おもしろ心理学: コーラ 高齢者への支援		
9	第2章 医療保障 第3章 所得保障	P17~医療保障制度・医療保険の仕組み・公費負担医療 P23~所得保障制度の概要・公的年金・労働保健等を学ぶ。		
10	第4章 社会福祉	P37~社会福祉の概要・児童、家庭福祉・障害者福祉・高齢者福祉について学ぶ。		
11~12	①おもしろ心理学 座学P7~P21・高齢者支援・制作・テキスト3章(所得保障)	おもしろ心理学: かさ 福祉に関する人物紹介(エレン、ケイ「児童の世紀」)		
13	第5章 高齢者と障害者の身体と心	P55~高齢者の身体的・心理的特性・障害者の身体的・心理的特性を学ぶ。		
14	第6章 高齢者・障害者の介助	P71~理容、美容における介助の考え方・高齢者に対する介助障害のある方に対する介助について学ぶ。		
15	第7章 高齢者・障害者に対する理容・美容の実践	P89~店内における実践		
16	第8章 理容師・美容師を用いた社会貢献活動	P99~社会貢献活動・理容美容技術を用いた社会貢献活動の実践・		
17~18	テキスト5章(高齢者と障害者の心と体)・障害者の身体的・心理的特徴・美容福祉試験	P55~高齢者の身体的・心理的特性・障害者の身体的・心理的特性を学ぶ。 美容福祉の演習について学ぶ。		
19~20	L、M、T美容支援(施設用)セラピーアセスメント 定期試験	心理療法: 芸術療法(カラーージュ)・実践レポートトメッセージ 美容福祉試験(60分記述式)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容福祉(美容版: 公益社団法人 日本理容美容教育センター) 配布資料		出席率 クラスディスカッション 提出物 定期試験	30.0% 30.0% 10.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習		美容学科/1年～2年	2023/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	600回	30単位(900時間)	必須	上原幸枝・宮國智美 実務経験あり

授業の概要

美容技術の基礎的な操作を理論との連携を図りながら確実に身に付け完成度の高い技術を、日々の反復練習で習得させること。
衛生管理の重要性、消毒等の適切な実施方法、薬剤や化粧品の使用方法を習得させる事を目的とする。

授業終了時の到達目標

各実習課題を定期試験を行いながら高いレベルを目指し、美容師に必要とされる知識及び技能を備えさせる。

回	テーマ	内容
1～2	美容技術における作業姿勢及び人体各部の名称	実際に実技をしながらの説明確認。
3～4	美容技術における用具の取り扱い	各課題実習時に用具の取り扱い及び注意事項の説明を行う
5～7 5	シャンプーイング(サイドシャンプー)	モデルを使用しシャンプーの手順を習得する。
76～135	シャンプーイング(バックシャンプー)	サイドシャンプーと同様、モデルでの手順を習得する。
136～148	トリートメント及びスカルプトリートメント	シャンプー施術を行いながらトリートメント・スカルプトリートメントを習得する。
149～152	第1回確認試験	説明を入れながらのモデルでの試験を行う。
153～159	シザーズとレザーの取り扱い ブロッキング方法	ウィッグを使用しシザーズ・レザーの正しい扱いを習得する カットをスムーズにするためにブロッキング方法を練習
160～180	シザーズによるカット技法	シザーズを使用し、ワンレングス・レイヤー・グラデーション、セიმレングス技法を習得する。
181～191	レザーによるカット技法	レザーを使用し、テーパー、セニング、技法を習得する。
192～196	第2回確認試験	ウィッグを使い各カット技法の試験を行う。
197～219	ワインディング技術	ワインディング(パーマの基礎巻き)を正しい巻き方、おさめかた、角度を理解する。
220～230	パーマネットウェーブ技術	パーマネットウェーブの施術方法(プロセス)を理解する。
231～235	第3回確認試験(又は1年前期 期末試験)	ワインディング(国家試験に準ずる)タイム入れながら試験を行う。
236～246	総合実習(1年次実務実習を含む10時間を学内チューデントサロンで実施)	今まで習得してきた技術をサロンワークを通して学ぶ。
247～257	ヘアーカーリング技術	国家試験に準ずる課題のカールの構成を理解する。
258～268	ヘアーウェービング技術	カーリング同様、ウェーブの構成を理解する
269～279	ローラーカール技術	ローラーカールのスライス角度、テンション、仕上げを学ぶ。

回	テ ー マ	内 容		
280~286	アップスタイル技術	様々なヘアアレンジを練習する。		
287~327	ブロードライ技術	シャンプー後でのライニング、仕上げをブロー技術を習得する。		
328~348	アイロンセッティング技術	ブロースタイリング後さらにヘアアイロンはを使用し仕上げを習得する。		
349~350	第4回確認試験	アップスタイル・オールウェーブセッティングをタイム入れながら試験を行う・		
351~371	酸化染毛剤の技術手順	ヘアカラーの種類、技術手順を習得する。		
372~376	第5回確認試験（又は、1年後期 期末試験）	ワインディング・オールウェーブセッティング他、ヘア技術を総合的に試験を行う。		
377~437	総合実習	接客～シャンプーとサロンワークと同様な設定で実習を行う。		
438~442	ネイル技法及び公衆衛生	ネイルの基礎技術を習得する。		
443~447	スキンケア	フェイシャルに関する施藍ん施術を相モデルで行う。		
448~458	メイク道具の使用方法・ベース・アイメイク・アイブローメイク・リップメイク	メイクに関する知識を習得しながら、相モデルで練習する。		
459~469	まつ毛エクステンション技術	まつ毛エクステンションについて、注意事項を的確に学び技法を習得する。		
470~482	和・洋装スタイル	和装（ヘアスタイル・着付け） 洋装（ヘアスタイル・ドレスフィッティング）を習得する。		
483~493	作品作成	これまで学習した技術の集大成として、作品作成をする。		
494~534	総合実習	接客～シャンプーとサロンワークと同様な設定で実習を行う。		
535~539	第6回確認試験（又は2年前期 期末試験）	ワインディング・オールウェーブセッティング他、ヘア技術を総合的に試験を行う。		
540~600	総合実習（2年次実務実習を含む30時間をサロン学習）	接客～シャンプーとサロンワークと同様な設定で実習を行う。		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	美容実習（美容版：公益社団法人 日本理容美容教育センター） 配布資料	出席率 クラスディスカッション 提出物 定期試験	30.0% 30.0% 10.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
関係法規・制度		美容学科/2年	2023/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	1単位(30時間)	必須	宮里盛弘 実務経験あり
授業の概要				
社会における法の役割、法と政治の関係、法の種類及び衛生法規について学び、美容師が社会で働くためには、法制度に従って働くことが必要であり、かつまた、美容師という仕事も法制度によって社会に位置づけられていることを理解してもらう。				
授業終了時の到達目標				
法制度・衛生行政・理容師法、美容師法の法律について、美容師免許を取得後、社会で行われている様々な法律行為を理解し美容室に務める場合や経営する場合に出会ういくつもの契約等に役立てる基礎作りを習得する。				
回	テーマ	内容		
1	第1章 制度の概要 第1節 社会生活における法の役割	P7～人と社会生活・法とは何か。		
2	第2節 法の形式 第3節 衛生法規の概要	P11～憲法と日本の法令体系・契約・法律・命令 自治法規 P15～衛生法規の意義・衛生法規の分類と生活衛生法規		
3	第4節 理容師法・美容師付属法令	P18～理容師法の体系・美容師法の体系を学ぶ。		
4	第2章 衛生行政の概要 第1節 衛生行政の意義と歴史	P22～行政とは何か・衛生行政の意義・我が国における衛生行政の歴史(近代衛生行政の起源、我が国の衛生行政の歩みを学ぶ。		
5	第2節 衛生行政の分類と生活衛生行政の内容	P27～多数の人が利用する場所の衛生に関する行政・水道に関する・食品衛生に関する・衛生害虫、ネズミの駆除・建築物の衛生・その他の生活衛生行政について学ぶ。		
6	第3節 衛生行政を担う行政機関	P30～一般衛生行政の仕組み・厚生労働省の役割・都道府県及び市町村の役割・都道府県知事が行う自治事務・保健所設置市区長が行う自治事務を学ぶ。保健所の役割と機構を学ぶ。		
7	第1回確認試験	社会生活における法の役割及び衛生行政についての理解度確認試験。		
8	題3章理容師法・美容師法 第1節 目的 第2節 用語の定義	P38～理容師、美容師法をきちんと学んで法による規制の中心となる人・施設・に関する部分、定義を学習する。		
9	第3節 人(理容師、美容師)に関する規定	P49～概説・養成施設の入所資格・養成施設・免許と登録・試験・義務・業務停止・免許取り消し再免許・管理美容師について学習する。		
10	4節 施設(理容所・美容所)に関する規定	P92～概説、開設・開設者が講ずべき衛生措置、理容美容所以外での業務を学ぶ。		
11	第5節立入検査と環境衛生監視員	P113～理容師法(第13条・28条)美容師法(4条・28条)報告・検査等を学ぶ。		
12	第6節違反者等に対する行政処分	P116～人(理容師・美容師)に対する処分、不利益処分を行う場合の手続き、違法、不当な処分等についての審査請求について学ぶ。		
13	第7節 罰則	P123～理容師、美容師法の罰則について学ぶ。		
14	第4章 関係法規	P130～理容師・美容師の運営、理容美容業・消費者保護に関することを学ぶ。理容師美容師法の構成を学ぶ。		
15	第2回確認試験	理容師・美容師法全般の理解度の確認試験。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
関係法規・制度(美容版:公益社団法人日本理容美容教育センター)配布資料		出席率 クラスディスカッション 提出物 定期試験	30.0% 30.0% 10.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
文化論		美容学科/1年～2年	2023/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	40回	2単位(60時間)	必須	玉城のぞみ 実務経験あり

授業の概要

さまざまな髪型・化粧・服装のトータルファッションの歴史を学ぶことで流行のメカニズムを知り、時代を読み、芸術的な表現力と観察力を養い、確かな技術力、感性を身につける。
併せてファッションの造形色彩の原理などを学ぶことにより感性を高めていく目的とする。

授業終了時の到達目標

美容文化論には、教科書で学ぶ、歴史の最古から美容がかかわってきたこと学ぶことは今を知るために重要である。日本・西洋その時代をよく理解し髪型、ファッション、メイクの移り変わりを理解する。

回	テーマ	内容
1～2	第1章 総論	P5～理容、美容の語義・理容美容と現代社会 文化史の中の理容、美容・理容師、美容師の仕事の中で
3～4	第2章 日本美容業の歴史	P9～理容業・美容業の発生 江戸時代の理容業・美容業
5	"	P17～近代、現代の理容業・美容業 現代の理容業・美容業、歴史年表を学ぶ。
6	第3章ファッション文化史 日本編	P25～1節 縄文・弥生・古墳時代
7	"	P31～2節 古代(飛鳥、奈良、平安時代)
8～10	"	P40～3章 中世(平安末、鎌倉、室町、戦国時代)
11～12	"	P46～4章 近世Ⅰ(戦国末、安土桃山時代)
13～14	"	P49～5章 近世Ⅱ(江戸時代)
15	"	P68～6章近代(明治、大正、昭和20年)
16	"	P84～7節 現代Ⅰ(1945～1950年代)
17～18	"	P91～8節 現代Ⅰ(1960～1970年代)
19	"	P98～9節 現代Ⅲ(1980～1990年代)
20～21	"	P104～10節 現代Ⅳ(2000年代以降)
22～23	第1回確認試験	理容業・美容業の歴史・ファッション史(日本編)理解度 確認試験。
24～25	第4章ファッション文化史 西洋編	P107～1節 古代エジプト 古代ギリシャローマ
26～27	"	P113～3節 古代ゲルマン
28	"	P114～4節 中世ヨーロッパ

回	テ　　マ	内　　　容		
29	''	P120～5節 近世Ⅰ（16世紀）		
30	''	P124～6節 近世Ⅱ（17世紀）		
31	''	P128～7節 近世Ⅲ（18世紀）		
32	''	P132～8節 近代Ⅰ（18世紀末～19世紀初め）		
33	''	P134～9節 近代Ⅱ（19世紀）		
34	''	P139～10節 現代Ⅰ（1910年代～1920年代）		
35	''	P145～11節 現代Ⅱ（1930年代～1940年代）		
36	''	P145～12節 現代Ⅲ（1940年代後半～1950年代）		
37	礼装の種類	P163～第1節 和装の礼装		
38	''	P168～第2節 洋装の礼装		
39	ファッション文化史年表	P172～年表を理解覚える。		
40	第2回確認試験	ファッション文化史 西洋編より礼装の種類を理解度を 確認。		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
	文化論（美容版：公益社団法人 日本理容美容教育センター） 配布資料	出席率 クラスディスカッション 提出物 定期試験	30.0% 30.0% 10.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容技術理論		美容学科/1年～2年	2023/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	100回	5単位(150時間)	必須	宮國智美 実務経験あり

授業の概要

美容の基礎的な理論と技術についての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を身につけさせると同時に美容器具・薬品・薬剤の正しい知識をもち、使用方法についても習熟させる。

□

授業終了時の到達目標

技術習得はそれぞれ理論と動作を並行して具体的に履修させ、より効果的に習得させる。

回	テーマ	内容
1	美容技術理論を学ぶにあたって	P5～技術理論Ⅰ 美容技術者としての心得を学ぶ(接客・身だしなみ等)
2	美容用具 コーム・ブラシ・シザーズ・レザー・ピン類・ロッド等	P15～一般的な道具の取り扱い、選定名称を学ぶ。
3	美容用具 ローラー・ヘアアイロン・ヘアドライヤー・ヘアスチーマー・遠赤外線機	P26～用語の種類選定法を学ぶ。タービネートタイプドライヤーの構造を学ぶ。
4～7	シャンプーの技術、総論、サイドシャンプー、バックシャンプー	P35～シャンプーの目的、メカニズム・シャンプー剤の種類、適したシャンプー選定、手順を学ぶ。
8～9	シャンプー技術 リンス・コンディショナー・トリートメント	P49～リンス、コンディショナー、トリートメントの役割、目的、種類を学ぶ。
10	スカルプトリートメント・ヘッドスパ	P55～スカルプトリートメントの目的、要素、頭皮のトラブルを理解する、技術の一例を習得、ヘッドスパのプロセスを学ぶ。
11	第1回確認試験	美容師としての心得、サイド・バックシャンプー等各技術の理論的なことを理解しているか確認試験を行う。
12	ヘアデザイン	P65～錯覚現象を美容に生かす方法、デザインの要素、デザインの原理を学ぶ。
13	ヘアカッティング シザーズ・レザーの扱い方・姿勢・ブロッキング	P87～ヘアカッティングの目的、必要な道具、適した材質、ブロッキングを学ぶ。
14	ヘアカッティングの基礎理論	P95～スライスの種類、毛先が集まる位置とカットラインの関係を学ぶ。
15	ベーシックなカット技法	P99～カット技法ヘアスタイル、展開図を学ぶ。
16～17	シザーズによるカット技法	P104シザーズカット技法(ストローク・ポインティング・トリミング・セニング・スライド)を学ぶ。
18	レザーによるカット技法	P117～レザーカット技法(テーパー・セニング・ポインティング)を学ぶ。
19～20	パーマントウェーピングの歴史と現在・理論	P127～毛髪の構造、有効成分、はたらきについて学ぶ、
21～22	パーマ剤の分類・パーマ剤に関する注意事項	P132～パーマ剤の分類、パーマ剤の種類について学ぶ。
23～27	パーマントウェーブ技術・ワインディングのバリエーション・縮毛矯正	P135～使用前の注意事項、各製品の使用上の注意について学ぶ。
28	第2回確認試験(又は1年前期 期末試験)	前期で学んできた前章を理解しているか確認試験とする。

回	テーマ	内 容		
29～33	ヘアセッティング ・ シェーピング ・ カーリング ・ ローラーカーリング ・ ウェービング	p159～オリジナルセットの基本的な要素、ヘパーティング、ヘアシェーピング、ヘアカーリング、ローラーカーリングの技術の一例を学ぶ。		
34～40	ブロードドライ ・ アイロンセッティング	P198～ハンドドライヤトブラシの基本動作を学ぶ。		
41～43	バックコーミング ・ アップスタイル ・ ウィッグとヘアピース	P209～基礎的な技術、一例を学ぶ。		
44～47	ヘアカラーリング 概論 ・ 種類 ・ 染毛のメカニズム ・ 色の基本等	P221～ヘアカラーの種類、染毛のメカニズム、色彩の3原色を理解する。		
48～49	ヘアカラー 毛髪のレベルとアンダー トーン ・ パッチテスト ・ 道具等	P230～日本人のアンダー トーン ・ ヘアカラーの色選びを習得する。パッチテストの必要性を学ぶ。		
50～52	ヘアカラー 酸化染毛剤、酸化染毛料の技術手順 ・ ヘアブリーチ	P241～ヘアセッティング ・ ヘアカラー技術の注意事項、手順を学ぶ。		
53	第3回確認試験	ヘアセッティング～ヘアカラーの章で学んだ事の理解力を確認する。		
54～60	エステティック 概論 ・ 皮膚の生理と構造 ・ カウンセリング	技術理論Ⅱ P5～エステティシヤンの心得を学ぶ。皮膚の生理と構造、カウンセリングの目的		
61～63	マッサージ理論 ・ フェイシャルケア技術 ・ デコルテマッサージ ・ パック	P16～基本手技、フェイシャルケア技術、パックの種類ボディケアの技術の特徴を学ぶ。		
64～66	ネイル概論 ・ 爪の構造機能 ・ 形状 ・ 技術と公衆衛生 ・ カウンセリング	P37～ネイル技術の種類、構造、カット形状を学ぶ、公衆衛生、カウンセリングの必要性を学ぶ。		
67～68	ネイルケア ・ アーティフィシャルネイル ・ 手と足のマッサージ	P46～ネイルケアの道具、マニキュア ・ ペディキュア技術の手順を学ぶ、人工的につくられる補修などを行う技術を学ぶ。		
69～70	メイクアップ 概論 ・ 色彩 ・ 顔の形態学的な観察 ・ 皮膚の生理と構造	P73～顔のプロポーション ・ 骨格 ・ 筋肉を理解する。色の三属性を学ぶ。		
71～73	スキンケア ・ アイメイク ・ リップ等、まつ毛エクステンション	P86～メイクアップ手順、ファンデーションの種類と特徴を学ぶ。まつ毛エクステンションカウンセリング、注意事項を学ぶ。		
74	第4回確認試験（又は、1年後期、期末試験）	エステティックの必要性と注意事項を理解しているか確認試験を行う。		
75～76	日本髪 各部の名称 ・ 種類 ・ 調和 ・ 装飾品 ・ 道具 ・ 技術 ・ 手入れ ・ かつら	P115～日本髪の各部の名称、種類他を学ぶ。日本髪の結髪技術の手順、かつらについて学ぶ。		
77～80	着付けの理論と技術 目的 ・ 礼装 ・ 帯 ・ 小物 ・ 名称 ・ たたみ方 ・ 要領	P137～着物と季節、代表的な着物の種類を覚える。着付けの一般的な要項を理解する。		
81～90	留袖、振袖技術、帯締め・帯揚げ結び方、男子礼装・羽織・袴技術、羽織の紐結び、女子袴技術、婚礼着付けの注意事項、和装・礼装花嫁	P155～和装（留袖・振袖・男子礼装・花嫁、袴）洋装（ウエディングドレスの知識・ベールの知識）を学ぶ。		
91～100	期末試験（又は2年前期、期末試験）	これまで学んできた章を理解しているかを確認試験を行う。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論1・2（美容版：公益社団法人日本理容美容教育センター）配布資料		出席率 クラスディスカッション 提出物 定期試験	30.0% 30.0% 10.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
化粧品化学		美容学科/1年～2年	2023/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	40回	2単位(60時間)	必須	玉城和子 実務経験 病院・薬局にて従事
授業の概要				
化粧品化学の基本原理についての理解とその応用能力とが、美容師にとって極めて重要な意義を持つことを理解させ、美容器具や化粧品の合理的な取扱方法に習熟させる。 また、美容器具や化粧品による危害を防止するための使用上の注意を学ばせる。				
授業終了時の到達目標				
安全に美容の業務を行うための化粧品(化粧品)の知識をつける。化粧品の化学的な知識を理解する。				
回	テーマ	内 容		
1	1章化粧品概論	P9化粧品の社会的意義、品質特性		
2	1章化粧品概論	P12化粧品の規制、安定性、取扱い上の注意、安全性		
3	1章化粧品概論	1章確認プリント		
4	2章化粧品原料	P31水性原料		
5	2章化粧品原料	P31油性原料		
6	2章化粧品原料	P50界面活性剤		
7	2章化粧品原料	P60高分子化合物		
8	2章化粧品原料	P63色材・香料		
9	2章化粧品原料	P82ネイル、まつ毛エクステンション用材		
10	期末試験	期末試験前の確認プリント(1～2章)		
11	期末試験	期末試験(1～2章)		
12	期末試験	期末試験解答・解説		
13	3章基礎化粧品	P85皮膚清浄用化粧品		
14	3章基礎化粧品	P91化粧水		
15	3章基礎化粧品	P93クリーム・乳液		
16	3章基礎化粧品	P101その他の基礎化粧品		
17	3章基礎化粧品	3章確認プリント		
18	4章メイクアップ化粧品	P105メイクアップ用化粧品の種類と剤型		
19	4章メイクアップ化粧品	P107ベースメイクアップ化粧品		
20	4章メイクアップ化粧品	P112ポイントメイクアップ化粧品		

回	テ ー マ	内 容		
21	期末試験	期末試験前の確認プリント（3～4章）		
22	期末試験	期末試験（3～4章）		
23	期末試験	期末試験解答・解説		
24	5章頭皮・毛髪用化粧品	P124シャンプー		
25	5章頭皮・毛髪用化粧品	P124シャンプー		
26	5章頭皮・毛髪用化粧品	P128スタイリング剤		
27	5章頭皮・毛髪用化粧品	P128スタイリング剤		
28	5章頭皮・毛髪用化粧品	P136パーマ剤		
29	5章頭皮・毛髪用化粧品	P136パーマ剤		
30	5章頭皮・毛髪用化粧品	P143ヘアカラー製品		
31	5章頭皮・毛髪用化粧品	P143ヘアカラー製品		
32	5章頭皮・毛髪用化粧品	P154育毛剤		
33	5章頭皮・毛髪用化粧品	P154育毛剤		
34	5章頭皮・毛髪用化粧品	5章確認プリント		
35	6章化粧品と特殊化粧品	P157芳香製品		
36	6章化粧品と特殊化粧品	P161サンケア製品		
37	6章化粧品と特殊化粧品	P162美白、制汗、ニキビ用化粧品		
38	期末試験	期末試験前の確認プリント（4～6章）		
39	期末試験	期末試験（4～6章）		
40	期末試験	期末試験解答・解説		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
衛生管理（美容版：公益社団法人 日本理容美容教育センター） 配布資料		出席率 クラスディスカッション 提出物 定期試験	30.0% 30.0% 10.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保健		美容学科/1年～2年	2023/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	3単位(90時間)	必須	玉城和子 実務経験 病院・薬局にて従事

授業の概要

美容技術の基礎となる人体組織、特に皮膚及び毛髪などの皮膚付属器の構造と機能に関する科学的、系統的な知識の習得を目的とする。□

授業終了時の到達目標

安全に美容の業務を行うための人体、特に皮膚の構造や皮膚病の知識をつける。

回	テーマ	内容
1	頭部、顔部、頸部の体表解剖学	P12頭部を含めた人体の各名称
2	頭部、顔部、頸部の体表解剖学	P12頭部を含めた人体の各名称
3	頭部、顔部、頸部の体表解剖学	P12頭部を含めた人体の各名称
4	第1回確認試験	第1章確認プリント
5	骨格器系	P22骨について
6	骨格器系	P22骨について
7	骨格器系	P22骨について
8	第2回確認試験	第2章確認プリント
9	筋系	P30筋肉について。表情筋など。
10	筋系	P30筋肉について。表情筋など。
11	筋系	P30筋肉について。表情筋など。
12	第3回確認試験	第3章確認プリント
13	神経系	P38中枢神経、末梢神経
14	神経系	P38中枢神経、末梢神経
15	神経系	P38中枢神経、末梢神経
16	第4回確認試験	第4章確認プリント
17	感覚器系	P42視覚、聴覚等5感

回	テーマ	内容
18	感覚器系	P42視覚、聴覚等5感
19	感覚器系	P42視覚、聴覚等5感
20	第5回確認試験	第5章確認プリント
21	血液・循環器系	P48赤血球、白血球、心臓等循環器系
22	血液・循環器系	P48赤血球、白血球、心臓等循環器系
23	血液・循環器系	P48赤血球、白血球、心臓等循環器系
24	第6回確認試験	第6章確認プリント
25	呼吸器系	P56鼻腔から肺までの気道
26	呼吸器系	P56鼻腔から肺までの気道
27	呼吸器系	P56鼻腔から肺までの気道
28	第7回確認試験	第7章確認プリント
29	消化器系	P60口腔から肛門までの消化器
30	消化器系	P60口腔から肛門までの消化器
31	消化器系	P60口腔から肛門までの消化器
32	第8回確認試験（又は、1年前期期末試験）	期末試験（第1～8章）
33	皮膚の構造	P68表皮、真皮、皮下組織
34	皮膚の構造	P68表皮、真皮、皮下組織
35	皮膚の構造	P68表皮、真皮、皮下組織
36	皮膚の構造	P68表皮、真皮、皮下組織
37	第9回確認試験	第9章確認プリント
38	皮膚付属器官の構造	P78毛、脂腺、汗腺
39	皮膚付属器官の構造	P78毛、脂腺、汗腺
40	皮膚付属器官の構造	P78毛、脂腺、汗腺
41	第10回確認試験（又は、1年後期期末試験）	期末試験（第9～10章）

回	テーマ	内 容		
42	皮膚の循環器系と神経系	P90皮膚の血管、リンパ管、神経		
43	皮膚の循環器系と神経系	P90皮膚の血管、リンパ管、神経		
44	第11回確認試験	第11章確認プリント		
45	皮膚と皮膚付属器官の生理機能	P94機械的外力などに対する保護作用		
46	皮膚と皮膚付属器官の生理機能	P94機械的外力などに対する保護作用		
47	第12回確認試験	第12章確認プリント		
48	皮膚と皮膚付属器官の保健	P108皮膚と全身状態など		
49	皮膚と皮膚付属器官の保健	P108皮膚と全身状態など		
50	第13回確認試験	第13章確認プリント		
51	皮膚と皮膚付属器官の疾患	P132皮膚疾患の種類		
52	皮膚と皮膚付属器官の疾患	P132皮膚疾患の種類		
53	皮膚と皮膚付属器官の疾患	P132皮膚疾患の種類		
54	皮膚と皮膚付属器官の疾患	P132皮膚疾患の種類		
55	皮膚と皮膚付属器官の疾患	P132皮膚疾患の種類		
56	皮膚と皮膚付属器官の疾患	P132皮膚疾患の種類		
57	皮膚と皮膚付属器官の疾患	P132皮膚疾患の種類		
58	皮膚と皮膚付属器官の疾患	P132皮膚疾患の種類		
59	第14回確認試験	第14章確認プリント		
60	期末試験（又は、2年前期 期末試験）	期末試験（第11～14章）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
保健（美容版：公益社団法人 日本理容美容教育センター） 配布資料		出席率 クラスディスカッション 提出物 期末試験	30.0% 30.0% 10.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
衛生管理		美容学科/1年～2年	2023/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	3単位(90時間)	必須	玉城和子 実務経験 病院・薬局にて従事
授業の概要				
公衆衛生、環境衛生の意義と目的を美容師の業務と関連付けながら具体的に理解させ、なおかつ、感染症予防、美容器具などの消毒方法等を美容業務の衛生性を担保する上で最も重要な技術であることを具体的に理解させる。				
授業終了時の到達目標				
安全に美容の業務を行うための公衆衛生、環境衛生、消毒法の知識をつける。感染症についてよく理解出来るようにする。				
回	テーマ	内 容		
1	公衆衛生の意義と課題	P7公衆衛生とは		
2	公衆衛生発展の歴史	P9コッホ、パスツール		
3	公衆衛生発展の歴史	P9コッホ、パスツール		
4	理容師・美容師と公衆衛生	P15古代からあった理容美容業		
5	理容師・美容師と公衆衛生	P15古代からあった理容美容業		
6	保健所と理容業・美容業	P17保健所の仕事と美容業の関わり		
7	第1回確認試験	第1章の確認プリント		
8	保健	P20母子保健・生活習慣病		
9	保健	P20母子保健・生活習慣病		
10	保健	P20母子保健・生活習慣病		
11	保健	P20母子保健・生活習慣病		
12	保健	P20母子保健・生活習慣病		
13	医療介護の制度	P34高齢者保健と福祉		
14	医療介護の制度	P34高齢者保健と福祉		
15	第2回確認試験(又は、1年前期期末試験)	期末試験(第1～2章)		
16	環境衛生の概要	P41様々な環境要因		
17	環境衛生の概要	P41様々な環境要因		
18	環境衛生の概要	P41様々な環境要因		
19	空気環境	P46空気成分、温度・湿度・気流と健康		
20	空気環境	P46空気成分、温度・湿度・気流と健康		
21	空気環境	P46空気成分、温度・湿度・気流と健康		
22	空気環境	P46空気成分、温度・湿度・気流と健康		
23	衣服・住居の衛生	P53衣服と住環境		
24	衣服・住居の衛生	P53衣服と住環境		
25	衣服・住居の衛生	P53衣服と住環境		
26	衣服・住居の衛生	P53衣服と住環境		
27	上・下水道と廃棄物	P60上・下水道と廃棄物		
28	上・下水道と廃棄物	P60上・下水道と廃棄物		
29	衛生害虫とネズミ	P65蚊やシラミなどの衛生害虫とネズミによる健康被害		
30	衛生害虫とネズミ	P65蚊やシラミなどの衛生害虫とネズミによる健康被害		

回	テ ー マ	内 容		
31	環境保全	P69水質汚濁		
32	環境保全	P69水質汚濁		
33	環境保全	P69水質汚濁		
34	第3回確認試験	第3章の確認プリント		
35	人と感染症	P73感染症法による分類1～5類等		
36	人と感染症	P73感染症法による分類1～5類等		
37	病原微生物	P82細菌、ウイルスなどの特徴		
38	病原微生物	P82細菌、ウイルスなどの特徴		
39	病原微生物	P82細菌、ウイルスなどの特徴		
40	感染症の予防	P88感染、発病とは。予防接種。感染症発生要因。		
41	感染症の予防	P88感染、発病とは。予防接種。感染症発生要因。		
42	感染症の予防	P88感染、発病とは。予防接種。感染症発生要因。		
43	理容・美容と感染症	P103結核、エイズなど感染症の各論		
44	理容・美容と感染症	P103結核、エイズなど感染症の各論		
45	理容・美容と感染症	P103結核、エイズなど感染症の各論		
46	第4回確認試験（又は、1年後期 期末試験）	期末試験(第3～4章)		
47	第4回確認試験（又は、1年後期 期末試験）	期末試験(第3～4章)		
48	第4回確認試験（又は、1年後期 期末試験）	期末試験(第3～4章)		
49	消毒とは／消毒の意義	P129消毒とは。殺菌、消毒、滅菌の区別。		
50	理容・美容の業務と消毒との関係	P135消毒と関係のある法律		
51	消毒法と適用上の注意	P141消毒に必要な条件		
52	第5回確認試験	第5章の確認プリント		
53	理学的消毒法（殺菌法）	P148紫外線、煮沸、蒸気消毒について		
54	理学的消毒法（殺菌法）	P148紫外線、煮沸、蒸気消毒について		
55	化学的消毒法（殺菌法）	P154アルコール、次亜塩素酸ナトリウム等による消毒について		
56	化学的消毒法（殺菌法）	P154アルコール、次亜塩素酸ナトリウム等による消毒について		
57	すぐれた消毒法とその実施上の注意	P164優れた消毒法の条件とは。		
58	第6回確認試験	第6章の確認プリント		
59	各種消毒法と実習	P167実際の消毒法と消毒液の濃度計算について		
60	期末試験（又は、2年前期 期末試験）	期末試験(第5～6章)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
衛生管理（美容版：公益社団法人 日本 理容美容教育センター） 配布資料		出席率 クラスディスカッション 提出物 定期試験	30.0% 30.0% 10.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
運営管理		美容学科/1年～2年	2023/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	20回	1単位(30時間)	必須	上原 幸枝 実務経験有り
授業の概要				
経営者の考え方や果たす責任・役割、人を雇う事の責任について学ぶ。また、顧客を満足させるサービスとは何か、消費者対応の基本を学び、それを実現できるかを考える力を養う。				
授業終了時の到達目標				
経営者の視点を理解し、よいサービスを実現したいという経営者の努力が理解できるようにする。視野を広げ顧客や社会のための仕事を担う責任を理解できるようになること。				
回	テーマ	内容		
1	経営者の視点 経営とは・経営者とは	P12 経営者が必要とされる理由		
2	経営者の視点 経営資源と経営計画	P18 人材・機材(物資)資金		
3	経営者の視点 理容業・美容業の経営について	P24 業界の現状、競争、サービス		
4	経営者の視点 資金の管理	P36 資金管理の重要性と会計活用		
5	経営者の視点 収支と損益	P38 収支・損益とは、会計について		
6	経営者の視点 コスト管理	P42 利益の仕組み		
7	経営者の視点 税金	P44 税金の種類とその内容		
8	第1回確認試験	第1章の確認プリント		
9	人という資源 従業員としての視点 労働者の権利	P50 労務管理の目指すもの。美容のトレーニングや給与の役割、待遇・福利厚生について		
10	健康・安全な職場環境の実現	P64 健康管理の仕組み・仕事と疲労		
11	従業員としての視点から	P74 社会人としての責任		
12	社会保険	P76 国民年金・マイナンバー制度		
13	キャリアプランの重要性	P90 自己管理・将来設計		
14	第2回確認試験(又は、1年後期末試験)	期末試験(第1～第2編)		
15	顧客のために 顧客が求める価値 サービス・デザイン	P96 サービスデザインについて		
16	マーケティング	P108 マーケティングの特徴、要点、市場、要因など		
17	サービスにおける人の役割	P124 よい接客とは何か、接客力を高めるための努力や工夫		
18	顧客のために 接客の実践①～③	P128 実践①店内環境の確認、実践②受付の役割と意味・顧客の要望を聞く。実践③提案・質問		
19	顧客のために 接客の実践④⑤	P134 実践④対応が難しいケース・説明 実践⑤謝罪、謝罪する理由、ポイント。フォローアップ。		
20	第4回確認試験(又は、2年全期末試験)	期末試験(第1～3章)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
運営管理(美容版:公益社団法人 日本理容美容教育センター) 配布資料		出席率 クラスディスカッション 提出物 定期試験	30.0% 30.0% 10.0% 30.0%	